観光は平和へのパスポート
国連世界観光年宣言

JHSたより

平成29年12月5日（15,000部）発行
2017.12 Vol.61

学校法人日本ホテル学院
発行所／専門学校日本ホテルスクール
一般財団法人 日本ホテル教育センター
〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)
https://www.jhs.ac.jp http://www.jec-jp.org/ FAX.03-3360-8584

国際協力、産業界との連携を推進

～セネガルからのJICA招聘留学生の来校～
ホスピタリティ業界人事担当者約50名を招いて研修・交流会

左から武内悟副校長、ジャリエトウ・ゲイさん、廣瀬紳一教授、佐藤健太郎先生

1976年、本校が運輸大臣許可の財団立のホテル学校として再スタートして以来、日本国政府が国際協力機構（ＪＩＣＡ）、国際観光開発研究センター、海外運輸協力協会等の受け入れ機関を経由して、開発途上国における観光行政関係の中堅幹部20数名を日本へ招聘し、「観光振興とマーケティング研修」を実施するにあたり、これらの研修に協力してきました。

去る11月10日、ＪＩＣＡ招聘留学生、現在、国際大学大学院国際経営学研究科で学ぶジャリエトウ・ゲイさんと同大学指導担当の廣瀬紳一教授が来校しました。これは安倍総理大臣が提唱する「アフリカの若者のための産業人育成イニシアティブ」の研修生の一員として、母国の観光ホテル学校の再建プロジェクトに参加、日本の現状を研究し、修士ＭＢＡ取得の論文作成のため、実地視察に来校したものです。本校では、武内悟副校長、国際業務室佐藤健太郎先生が学校の運営体制、教育課程の説明、施設見学等々で対応しました。

また去る10月20日、浅間プリンスホテルにおいて、実習・就職等々でお世話になっているホテル・ブライダル・レストランなどのホスピタリティ業界の人事関係者・総支配人45社48名を招き、研修会で「内外のお客様をもてなす一大観光地軽井沢の現状と今後の戦略」を学び、懇親会で情報交換、意見交換を通じて親睦を図りました。

今回で29回目となり、毎年、双方に有意義な機会として活用されています。

これらは国際協力、産学連携の一例ではありますが、本校では、学生への教育を第一としながら、内外の視察団の受け入れ、業界人との交流を積極的に進めています。

浅間プリンスホテルでの研修会風景

「マスカレード・ホテル」の映画化に協力

－俳優へのホテルマン所作指導に協力－

校長　石塚　勉

今回、小説家の東野圭吾原作「マスカレード・ホテル」が映画化され、2019年東宝株式会社から配給される予定です。

この制作にあたり、木村拓哉さん、長澤まさみさん、他俳優に対する所作指導、東宝スタジオでのセットの一部としてホテル関連書籍貸出の依頼があり、受託。本校から大堀貴弘、浅山恵一、川辺修、堀籠克明の各先生がスタジオ入りし、この所作指導に当たりました。

これまで、石ノ森章太郎先生の漫画「ホテル」、柳沢慎吾のTV番組「バスツアークイズ」、所ジョージのTV番組「笑ってコラえて」、和食TV番組：オトナ検定「知ればもっと美味しくなる!グルメ検定編」などの漫画やTV番組へは、ネタの提供や出演などで協力、ホテルやホテルマンに対して品位を下げるもの、プライドを傷つけるような内容の作品やTV番組は断り、品性やイメージの良いものには協力することを基本にしてきました。今回は、原作者、俳優陣から見て良いと判断、協力・支援することにしたもの。

この映画は、「予告殺人を防ぐためホテルに潜入した男性刑事とフロント従業員の女性との衝突と共闘」があらすじとのこと。1994～1995年に放映されたTVドラマ「ホテル」が大ヒットし、多くの若者にホテルで働く夢と希望を与えたように、制作中の「マスカレード・ホテル」も大ヒットすることを期待、公開が楽しみです。

観光業界一大イベント　ツーリズムEXPOジャパン2017開催
～学校行事の一環として参加～

UPHの学生とツーリズムEXPOを見学

9月22日～9月24日、アジア最大規模の観光イベント「ツーリズムEXPOジャパン2017」に本校の学生が学校行事の一環として参加しました。

今年で4回目を迎えたツーリズムEXPOは総合観光イベントとして2014年から開催され、世界各国・地域から数多くの出展者が集まり、国・地域の魅力を来場者に発信します。世界各国、日本全国の地域・観光地の趣向を凝らしたブースで旅行気分を味わいながら、旅の嗜好や目的に沿った情報を入手することができます。

世界各国のブースを巡る

学生は、世界各国・各地の情報を得るために見学し、会場内でのステージパフォーマンスや展示会場など各国の文化や習慣にも触れ、楽しみながら熱心に見学している姿が印象的でした。

それぞれの国民性や独自の文化を知り、異文化に触れることで国際的な視野を広げる目的もあります。

フィリピンを紹介するブースには、本校の卒業生でザ ベルビューホテルで活躍する安澤和哉さん（2016年卒）、ザ ベルビューリゾート ボホールで活躍する漆間みな美さん（2016年卒）、そしてボホール ビーチクラブ リゾートで活躍する植田あいみさん（2016年）が各ホテルのセールスという立場で参加していました。

左から：安澤和哉さん、川上先生、漆間みな美さん

植田あいみさん（左）と川上先生（右）

国際ホテルマネジメント専科卒業式を挙行
～第14期生4名が卒業～

10月13日、2017年度国際ホテルマネジメント専科の卒業式典をWest53rd日本閣で挙行しました。

大学を卒業後に入学した卒業生らに、石塚勉校長から卒業証書が手渡され、また、優秀学生賞、同窓会理事委嘱状も対象者に授与されました。

石塚校長の式辞後、卒業生を代表して同窓会理事委嘱を受けた齋藤優生さんより卒業のことばが読まれ、卒業式典は終了しました。式典後に行われた食事会では、本校同窓会会長中島宣由紀様より乾杯のご挨拶とともにお祝いのお言葉を頂きました。

来賓、学校関係者の皆様と

卒業の言葉
齋藤優生さん

優秀学生賞の川端真理さん

フィリピンレクチャーを実施
～海外研修旅行に向けて～

昼間部1年生を対象に、1月21日から2月4日にかけて5泊6日で実施するフィリピン研修（マニラ・セブ）に備えて「フィリピンレクチャー」を行ないました。

研修旅行の意義や旅行日程の他に、訪問先であるフィリピンの歴史や気候、都市の特徴、などについて学びました。

研修旅行実施まで、学生たちが訪問先について更に理解を深められるように準備をし、充実した研修旅行にしていきます。

現地の気候や風土などを理解

就職内定率好調
－10月末現在　90.3%！－

本年度の求人数は昨年度より3.7%増となり、10月末時点で就職率は90.3%、就職未決定者9.7%を残すのみとなりました。

学生室（進路担当）では、学生・担任と力強いタッグを組み、卒業式までに全員の内定獲得に向けて奮闘中です！

就職ガイダンス風景

カナダ・バンクーバー　ダグラスカレッジを視察
～4月より留学中の45名を訪ねる～

カナダ・ダグラスカレッジに留学中の学生

8月7日から11日までの5日間で留学中の学生の様子を確認するために、井上浩先生が現地視察を行いました。

現地視察の際、ダグラスカレッジ副学長Guangwei Ouyang氏、留学プログラム担当者Jennifer Zhao女史と、語学能力向上の為のESL、サービスやマネジメント知識を深めるホスピタリティ・コースの運営方法、海外インターンシップの実務研修について話し合いました。

学生が授業課題に勤しむ姿、グループワーク授業への積極的な姿勢をみて、嬉しい気持ちと頼もしさを感じ、受入れホストファミリーとの生活といった日本とは違った生活スタイルや経験を受け入れる学生の適応性に驚くばかりです。

大都市でありながら自然を身近に感じられる環境は「世界で最も生活しやすい都市のひとつ」と評価されているバンクーバーの生活は発見と安全性、バンクーバーの人々の人柄の良さが溢れるかけがえの無い体験そのものであると同時に国際的な視野を養う機会であると感じます。

授業終了後に教室で

麦山七海さんとホストファミリー

ブライダル科授業紹介

ホテル・ブライダル企業施設見学を実施

昼間部ブライダル科1年生を対象としたホテル・ブライダル施設見学会を9月8日、9月25日に「リビエラ東京」、「ホテルメトロポリタン東京」にて開催しました。

見学会では、各企業の人事の皆様やサービスマネージャー、ブライダルコーディネーターの方のご案内のもと、チャペルや神殿、披露宴会場、衣装室、打合せサロンなど、学生が普段見学出来ない施設を見学させていただき、現場社員の方々の話を直接伺うことができました。

将来、ホテル・ブライダル業界へ目指す学生達へとても良い刺激になったようです。

企業と連携「卒業式衣裳展示会」を開催

産学連携」授業の一環として夜間部ブライダル科2年生による、学生が衣裳系企業3社と連携し「卒業式袴展示会」を校内で開催、運営、接客とも学生が主体となって行うことで、現実的なマネジメントを学ぶ機会となりました。

運営にあたったブライダル科2年の学生は現場で活躍するスタッフとともに展示会を運営する実践的な授業内容に、大きな刺激を受けていました。

卒業生がコーディネータースタッフとして来校

白根恵さん（2017年卒　株式会社曽我）、高野彩さん（2009年卒　株式会社マイム）、大原潮里さん（2013年卒　株式会社マイム）、山田未来さん（2017年卒　株式会社マイム）が、ブライダル科2年生による、学生と衣装企業様との産学連携企画授業「卒業式袴展示会」に来校、卒業式袴展示会の運営に協力いただきました。

株式会社マイム勤務の卒業生／左から、高野さん、山田さん、大原さん

卒業生の白根さんが企業スタッフとして来校し活躍

「ウエディングプランナー」
－実践力重視の授業－

第1回　ブライダルマスター 3名による実演

ブライダルの授業を担当する、3名のブライダルマスターたちが、ウエディングプランナー役とお客様役に分かれて、ウエディングサロンにご来店された新規のお客様初回面談をする設定でご要望を聞き取るロールプレイング（模擬面談）を実演しました。

左から：山本 浩子先生、山本 優貴先生、中村 浩二先生

ロールプレイング終了後は、科目担当の山本優貴先生から、重要なヒアリングポイントの解説がありました。

ヒアリングした内容はシステムに入力します。

3人のブライダルマスターによるロールプレイング

会話の中から重要な情報を集める

第2回　デモンストレーション・見積もり作成

ブライダルマスター 山本優貴先生

3人のブライダルマスターによる、ロールプレイングのデモンストレーションが行われました。

2回目となる今回は、「2回目の来店」の設定で、具体的に要望も固まってきている新郎新婦との会話術が大きな要素になります。

更に今回は、ヒアリングした内容をシステムへ打ち込んでいき、今後の打合せに備えます。

「システム」というと難しそうですが、忙しい新郎新婦と打合せをするブライダルに特化した効率的なシステムで客様の基本情報、ヒアリング内容を記録し、ご要望を満たすプランの具体的なお見積もりを作成するところまで行いました。

ベテランのデモを見ることは貴重な経験

YSCJ　2017年入会認証式を実施
～国際観光組織会員へ～

2017年度ヤング・スコール・クラブ・ジャパン（略称＝YSCJ）の会員登録を行った学生29名を対象に9月7日、入会認証式を挙行しました。

式典には、Skal International Tokyoから井上嘉世子会長、Fabien Clerc氏（Secretary-Treasuer）、Joseph Matsuo氏（Secretary-Treasuer）の3名の来賓が学生たちの入会をお祝いしてくださいました。

スコール・クラブ・ジャパンの会長でもある石塚勉校長の主催者挨拶に始まり、スコールプロモーション映像およびスコール会歌（Hymn）の視聴、井上会長からヤングスコール会員への祝辞、YSCJ代表者・中塚 柊さんへ会員バッヂの授与が行われました。

左から：Joseph Matsuo氏（Secretary-Treasuer）、Fabien Clerc氏（Secretary-Treasuer）、井上嘉世子会長、代表の中塚柊さん、石塚勉校長

観光・ホテル業界での次世代を担う人材育成を目的として、英語専攻科の学生を対象に創設されたYSCJですが、今後海外研修旅行や海外からのゲスト来校時など一層の国際的相互交流が図れることを期待します。

観光・ホテル業界での次世代を担う人材育成を目的として、英語専攻科の学生を対象に創設されたYSCJですが、今後海外研修旅行や海外からのゲスト来校時など一層の国際的相互交流が図れることを期待します。

ヤング・スコール・クラブ（YSC）

スコールクラブでは,次世代を担う人達の育成を視野に、「ヤングスコール」、「スチューデントスコール」という新しい会員のカテゴリーを作り、若い人達の参加を呼びかけています。既にローマでは約60人の学生が会員となり、次世代への準備を開始、約400のクラブもこうした方向で動きはじめています。

文部科学省、経済産業省の皆様が来校
～視察と意見交換を目的に～

文部科学省及び経済産業省から5名の方々が本校を視察。この訪問は、観光人材の育成に取組む観光系専門学校の視察と意見交換を目的に、本校の教育理念や育成人材像、教育の特徴や教育活動に関する概要説明と施設見学、意見交換などを行いました。当日は高校生等を対象にした「オープンキャンパス」を開催しており、それに伴ってサービス演習やブライダル衣装、披露宴サービスなどの体験授業も視察して頂きました。

本校は、文部科学大臣から職業実践専門課程の認定を受けており、今回の視察ではその実践的な教育への取組みについて意見交換させて頂くとともに、宿泊演習室、宴集会教室など実際の学びの場などもご見学頂きました。学内視察のあとは、文科省、経産省の皆様と観光教育の在り方や人材の育成、職業教育の充実などについて情報交換を行い、視察は大変有意義なものとなりました。

本校は、今後も職業実践専門課程の認定校として、企業と連携・協力し、より実践的な学習機会の提供に取り組んで参ります。

文部科学省、経済産業省の皆様と

フィリピン　University of Perpetual Help（UPH）の学生が来校

UPHアンチポーダ学長（右）と石塚校長

フィリピンの首都マニラにあるUniversity of Perpetual Help（UPH）から9月21日、2回目の表敬訪問がありました。今回の訪問ではUPHの学生15名と教職員を含めた関係者3名に来校いただきました。同大学は本校卒業後の海外大学編入制度の編入先大学であるとともに、日本ホテルスクールの学校行事の一つ、海外研修旅行でも関わりの深い大学です。

今回の訪問では、本校の授業であるホスピタリティ実務に参加し、昼間部ホテル科2年Cクラスの学生たちとデザートのデコレーション作成を体験、施設見学を通じ、本校の学生との交流も深めました。石塚理事長の歓迎挨拶の後には、スタディツアー参加の証として各学生に修了証が手渡されました。

UPHの学生と授業を通して交流

UPHの皆さんと

歓迎レセプションにて昼間部ブライダル科2年の学生による和装披露

～ＪＨＳ同窓会便り～

第48回「JHS同窓大学in北海道」を開催
～卒業生、同窓会関係者などが10名が参加～

創立47年を迎え、同窓生は1万2000名を超えた本校では、全国で活躍する卒業生が定期的に集まり、「同窓大学」を開催しています。

第48回を迎える「同窓大学」は、JHS同窓会北海道支部の全面協力のもと、札幌全日空ホテルで開催いたしました。

宮越惣一北海道支部長（1974年卒）をはじめ伊藤寛保北海道副支部長（1974年卒）、豊島博幸氏（1971年卒／プレミアホテル中島公園札幌・総支配人）、斉藤稔明氏（1974年卒／札幌サンプラザ）、竹中健一氏（1980年卒／三番街珈琲店）、近藤隆一氏（1980年卒／西武SCCAT）、幡谷貴氏（1995年卒／㈱ハマノホテルズ）にご参加いただきました。同窓会東京本部からは中島同窓会会長をはじめ役員および事務局10名が参加しました。

参加者の皆様

勉強会
豊島博幸氏(1974年卒)によ講義

終了証の授与

勉強会では、教授役として豊島博幸氏(1974年卒)による「ケン不動産リースのホテル戦略および札幌観光事情」の講話をいただきました。その後、石塚校長から日本ホテルスクールの近況報告そして意見交換会と続き、あっという間の3時間でした。懇親会終了後は「修了証」が授与されました。

本校は卒業生同士のつながりも強く、同窓会も活発です。色々なイベントを企画していますので、Facebookや、同窓会ページもご覧下さい。

第一期生同窓会風景
同窓生と同窓会事務局の皆様

■同窓会に関するお問い合わせ
同窓会事務局　TEL：03-3360-8231　FAX：03-3360-8584

ホテルスクール 第一期生の同窓会を開催
～長野県飯田市　シルクホテルにて～

第一期生の高野 登氏

全国で活躍する卒業生の一人で、シルクホテルの総支配人を務める、第一期生の勝又光伸氏が、創業45周年記念として同ホテルシルクプラザのホールにて、記念講演会とJHS第1期生同窓会を企画、同窓会東京本部からは中島宣由紀同窓会長をはじめ 一期生の役員4名と事務局1名が参加しました。

記念講演会の演者は、第一期生の高野 登氏（元ザ・リッツ・カールトンホテル日本支社長）で、350名のお客様が参加されました。

第24回ＪＨＳソムリエクラブ開催
～神楽坂「ラリアンス」にて～

今回は、神楽坂にあるフレンチレストラン「ラリアンス」で開催し24名が参加いたしました。「ラリアンス」の、勝山研二総支配人にもご挨拶いただき、レストラン紹介、料理説明をして頂き、卒業生同士、現在の状況報告や、ワイン・料理の話で大いに盛り上がりました。

今回のワイン選定は、本学でも授業を担当している大塚美咲さん（2007年卒業）にお願いしました。

前列左から：中島同窓会会長、長谷川大地さん、大塚美咲さん、石塚校長、
田丸亮平さん、川辺同窓会副会長

■ソムリエクラブに関するお問い合わせ
担当：川上　TEL：03-3360-8231　kawakami@jhs.ac.jp

トピックス

卒業生が大活躍！
～サービス技能コンクール本選にて～

「ホテル椿山荘東京」にて「平成29年度藤田観光グループサービス技能コンクール【サービス部門】」の本選が開催され、「フロントチェックイン」の審査部門において、同ホテルフロントに勤務する森田愛佳さん（2017年卒）が18名中の第2位となり審査員特別賞に輝きました。

大塚紀克さん（左）と審査員特別賞を受賞した
森田愛佳さん（右）

チェックイン部門には、大塚紀克さん（2016年卒）が、また、和食レストランサービス部門では、水越美波さん（2016年卒）の2名の卒業生スタッフがエントリーし、素晴らしいパフォーマンスを披露し健闘してくれました。

財団ニュース

日本旅館国際女将会
～海外視察研修旅行シリーズ　第２回「台湾」を開催～

日本旅館国際女将会は7月3日から8日まで、台中市政府観光旅游局（陳盛山局長）の招待を受け台湾を訪問しました。

台中市では、現地の観光行政関係者、観光業界団体幹部、旅館・ホテル経営者、大学教授らとの交流・情報交換会に出席、当会を設立した石塚勉理事長から「日本旅館国際女将会のあゆみ」を紹介、陳局長からは、日本旅館国際女将会との交流を深めることで、台中市と日本各地の温泉地との提携・交流がさらに拡大することに期待を込める、との挨拶がありました。

台中市政府観光旅游局
陳局長と

右：日本旅館国際女将会
長坂会長と陳局長

台中観光業界団体役員、ホテル経営者との交流・情報交換会
台中市政府観光旅游局陳局長を囲んで　写真中央：陳盛山局長

また、一行は旅游局の案内で台中州庁、台中国家歌劇院等視察しました。台中線の旧線廃線跡沿いに整備された全長約4.6kmのサイクリングロードを陳局長の案内でサイクリング。

后豊鉄馬道サイクリングロード
大甲溪花梁鉄橋にて

途中では、長さ382mの「大甲溪花梁鉄橋」と全長1273mの9号トンネルなどをご説明いただきました。

第18期　ホテル産業経営塾・第8期マイス塾　塾生募集中

ホテル産業経営塾
－計数感覚に優れた　ミドルマネジメントを育てる－

ホテル塾はミドルマネジメント（中間管理職）育成のための講座です。

ホテル塾ではグローバルに日々進化している新しいマネジメント手法を吸収し、各種課題を討議することにより、実戦に適用し、結果を残すことが出来るホテルマン・ウーマンの育成を目指しています。

◇期間：2018年5月～2019年3月
　　全16回（毎月第2・4金曜日　月2回）
◇定員：20名（定員になり次第締め切り）

■ホテル塾・マイス塾に関するお問合せ
一般財団法人日本ホテル教育センター事業本部
TEL：03-3367-5663　メール：juku@jec-jp.org

MICE（マイス）塾
－企業の未来を担保するマイスリーダーを育てる－

マイス塾はマイスの本質や理論を理解するだけでなく、日々の仕事にすぐに活用できるよう、マイスの第一線で活躍する最強の講師陣を揃えています。また、一方的に聞くだけの講義ではなく、講師と塾生がインタラクティブなコミュニケーションを実現しています。

◇2018年5月～2019年3月
　全16回（毎月第1・3金曜日　月2回）
◇定員20名（定員になり次第締め切り）

ホテル塾
グループ内で討議、戦略を練る

マイス塾
展示会開催の企画シート作成を
各自行う塾生

新人育成教材がついに完成
「新人育成実践マニュアル」のご紹介

自社での新人育成、コスト削減にもつながる「新人育成実践マニュアル」を作成しました。新人の育成にご活用下さい。

【内容】
●講師用マニュアル
・研修準備編
・オリエンテーション
・社会人とは
・お客様への基本動作
・職場での基本動作
・業務に必要な決まり事
・会社の決まり事
・ホテルの知識
・目標設定
・研修後事務作業
・確認テスト
・研修後アンケート
・投影用パワーポイント
・研修準備用各資料

【価格】　講師用マニュアル（USBメモリ付き）
　　￥２００，０００（税別）
　　受講者用テキスト（別売り）
　　￥１，０００（税別）

■お問合せ
一般財団法人日本ホテル教育センター
TEL：03-3367-5663
メール：support@jec-jp.org

図書資料室のご案内

観光業独自の専門資料室とするために、専門図書（洋書、和書）、政府刊行物、観光業界資料、専門月間誌、専門週刊誌を収集し、一般に公開しています。

同資料室には、ホテル・観光に関する書籍・資料・ビデオ・CD-ROMが約12,000冊常備されています。ご活用下さい。

■住　所：〒164-0003 東京都中野区東中野 3-15-14
　　専門学校日本ホテルスクール内
　　電話：03-3360-8231
■時　間：9：30－17：00
　　（土曜日 15：00迄）
■休館日：お問合せ下さい。
■入館料：300円
※来館の際は身分証の提示をお願い致します。

編集責任者：石塚　勉
編 集 担 当：黒沢由美子
連　絡　先：03－3360－8231　kurosawa@jhs.ac.jp